

令和6年第1回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和6年1月31日（水曜日） 午後1時43分から3時33分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・馬場優子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則・武蔵台小中学校校長 秋馬信之
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告

議題及び決定事項等

議案第1号 日高市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の一部を改正する規則

【原案どおり可決】

議案第2号 日高市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。武蔵台小中学校校長から義務教育学校の教育活動について報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 義務教育学校がスタートする前に懸念していた、小学校の教員と中学校の教員との交流・情報共有について、どのように行っているのか。

(武蔵台小中学校校長) 週1回職員集会を実施している。そこでは一堂に会して話を

している。一方的に管理職から話をするのではなく、教員同士で協議できる時間を設けている。前期課程、後期課程の教員が一緒になって、小グループに分かれて1つの議題について話し合いを行っている。雰囲気づくりを大切にしている。

(委員) 義務教育学校になり教員数が増加した。教員同士で情報共有をして児童生徒に対し密度濃く対応していかなければ義務教育学校にした意味がないと思う。それができなければ学力の補完はできないと思う。

(武蔵台小中学校校長) 校務支援システムを活用して、児童生徒の良いところや、見守るべきことなどを教員同士で共有できるようにしている。

(委員) 武蔵台小中学校の制服について、無くすと聞いたが趣旨はなにか。

(武蔵台小中学校校長) 価格面や機能性、多様性への対応などを考慮して、今年度、制服検討委員会を立ち上げ、ゼロベースから1年間議論を重ねてきた。児童生徒や保護者、教員へのアンケートを実施したり、試行的に私服登校の期間を設けるなどとした。臨時保護者会でも話し合いの場を設け検討してきた。私服登校を実施している学校へも視察に行った。毎朝、いつも決まった制服を何も考えずに着て行くのではなく、気候やその日の授業内容などを自ら考えて服選びをすることが大切である。また、華美な服装への懸念もあったため、学校生活にふさわしい服装を子どもたちに話し合ってもらった。

(委員) 制服を持っていれば、礼服としても活用できる。逆に私服の方が費用負担が大きくなるか心配である。また、生活保護を受給している世帯は制服代は出るが私服代は出ない。こうした事も考慮したほうがよいのではないか。さらに、今後、他の義務教育学校も右に倣えとはならないか。

(教育長) 制服は学校で検討し決めることである。来年度義務教育学校として開校予定の高根小中学校は、制服の話を進めており、ポロシャツ制服や小中で同じ体操着などの検討などを行っている。

(委員) 制服を理由に指定校変更は可能なのか。

(教育長) 指定校変更の理由とはならない。

(委員) 制服を着用したい子どもはどうするのか。

(武蔵台小中学校校長) 従来の制服を着用できる。学校ジャージ、制服、私服と自由としている。

(委員) 制服の廃止などの話は大きい話なので、教育委員に報告してもらいたい。

(委員) 学力の向上への効果は出ているか。

(武蔵台小中学校校長) 本年度開校したので、まだ成果ははかれていないが、今後分析を進めていく。英語については、一昨年の開校前から中学校の教員が小学校に乗り入れ授業を行ってきている。

(委員) 義務教育学校での課題はあるか。

(武蔵台小中学校校長) 落ち着かない学年があるが、義務教育学校となったことにより落ち着きを取り戻してほしいと思っている。

(委員) 今後、高根小中学校、高麗小中学校と続くが、現校長としてアドバイスはあるか。

(武蔵台小中学校校長) 義務教育学校開校という新しいことをする機会はない、大変なことではあるが、プライド、使命感をもって取り組んでももらいたい。自分たちで

- 新しいものを作っていくという自負をもって取り組んでいる。
- (委員) 後期課程になる段階で、引き続き通いたいと思えるような魅力ある学校にしてもらいたい。
- (委員) ボランティアが 20 名ほどいると聞いたが、どのように募集したのか。
- (武蔵台小中学校校長) 学校で手伝ってもらいたいことを地域で回覧したところ、約 20 名の方がボランティアとして参加してくれた。
- (委員) 全校遠足は縦割りで実施したのか。
- (武蔵台小中学校校長) 全児童生徒参加で縦割りで実施した。6 年生をリーダーとして、7 年生から 9 年生が見守ることとした。そこに保護者にボランティアとして参加いただいた。
- (委員) 全校遠足というのはどの学校も実施しているのか。
- (教育長) 最初は高萩小学校単独で実施していた。その後、ツデーウオークへの参加に合わせて各学校で実施するようになった。
- (委員) 令和 6 年度二十歳のつどいについて、地区によって参加率に違いがある。式典から、その後の地区ごとのつどいの出席率も地区によって違いが出ている。
- (教育長) 今年度の出席者は落ち着いていた。
- (生涯学習課長) 地区ごとのつどいの内容については、実行委員だけで考えている。今後続けていく中で委員が活動しやすくなるようサポートしていきたい。
- (委員) 普段の登校時間ではない遅い時間に登校している児童を見かけるが、学校や保護者は把握しているのか。
- (学校教育課長) 学校への欠席連絡等で確認している。近所の方から学校に連絡が来ることもあるが、学校では把握している。
- (教育長) 様々ケースはあるが、各学校には、そういう事案を放置しないよう指導している。
- (委員) 感染症について、現時点では、インフルエンザ A 型が減少してきており、新型コロナウイルス感染症が増加傾向である。インフルエンザ B 型も出てきている状況である。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第 1 号 【質疑なし】

議案第 2 号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 2 月定例会：2 月 29 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承
- 3 月定例会：3 月 14 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承